



『気多郡日置村役場処務規程』 公文書館蔵
 気多郡内の村役場は県の準則に従い規程を定めた。郡内の村々とも足並みを揃えている。
 (清水 6頁)



智頭町役場山形支所 智頭町誌編さん室蔵
 昭和10(1935)年2月に智頭町と合併した山形村役場はその後支所として活動を続けた。旧役場文書の残存率も低いが、旧役場の写真もそう多くは残っていない。
 (清水 7頁)



近藤家文書の配架状況

近藤家の文書蔵の書棚ごとに箱詰めをしており、元通りの復元が可能である。文書箱だけで300を越える。

(安藤 37頁)



企画展「鳥取県のたたら」(05.10.8~11.6)

とかく奥出雲の地場産業に思われがちなたたら製鉄だが、鳥取県でも木綿と並ぶ地場産業として県下の全域で操業が行われた。企画展で紹介した最も古い古文書は元和元(1615)年の安田家文書である。

(安藤 44頁)



縦94×横60×高さ22(mm)

亀井甚三郎肖像写真とその原版（右） 個人蔵
安政3（1856）年～昭和5（1930）年 鳥取県中部に山陰製糸会社を創設し、良品質の生糸の生産を目指した。成徳小学校の開設や県会議員も務めている。（谷口 59頁）



パリ万国博覧会銀牌賞 個人蔵
明治33（1900）年に開催された第5回万国博覧会で、山陰製糸会社の出品した生糸は銀牌を受賞した。

（谷口 59頁）